

学校評価アンケートについて

■生徒（一般）

・「学校に行くのが楽しい」については、今回選択肢から「わからない」を除いたので、経年変化を比較しにくいところである。

コロナの影響で、生徒の楽しみ、成長させる取組がなかなかすすきり行えないのは残念だが、合唱コンクールの代わりのストンプ発表会、体育大会の代わりの学年別体育大会のように感染予防を考えつつ、企画実行しているところである。2学期は少し楽しいと思う生徒が増えることを期待したい。

・コロナ流行前にはグループ学習や協働学習、教え合い学習などで学力の伸長が見られたが、コロナによりその取組に制限がかかり、各教科、各個人で工夫しての授業となってしまった。感染予防しながらの授業改善に苦しんでいるところである。

・部活動においても、春の大会中止、秋の新人戦中止、緊急事態宣言中は部活中止などコロナの影響を大いに受けている。

・社会マナーの指導については、力を入れている。特にあいさつについては、あいさつできる生徒の集う学校でありたいと思っている。

・いじめに関しては、定期的なアンケートや教育相談、生徒や保護者からの連絡から事態がわかると、いじめ対策委員会を中心に、事実関係を把握、情報共有、指導の方向性を決め、事態の收拾に努めている。

・今年度はそれぞれの質問項目で、「わからない」を回答から除き、自分自身を肯定することにより、達成感を感じさせることも狙っている。

■生徒（学習）

※アンケート結果を授業改善に役立てたいと思っている。結果は公開していません。

・生徒の授業の感想（わかりやすさ）については、今年も各クラス事に結果を出し、先生方に示し、振り返りを行ってもらっている。次回からはもう少し細かい質問を教科ごとに直接採ってもらい、授業改善に取り組んでもらうと予定です。

■生徒（教育目標等）

・生徒にもめざす目標を認識させ、教職員ともに達成を目指したいところだが、まだまだ認識させることができていない結果であり、残念である。学校からの働きかけも今後しっかり行い、目標達成を目指したいと思う。

■保護者

・学力の伸びを感じている保護者が少ないのは、生徒が家庭で学習している姿を見ることが少ないからだと思われる。また、定期テストの結果が思ったより良くないところからそう思

われているのではないかとと思われる。生徒の学習への姿勢を変えさせる必要がある。

・環境美化については、危険箇所、破損場所の修繕など今年も進んでいると思う。また、PTAの協力のもと、雑草の処理もでき、すっきりした環境になってきていると思う。ただし、西校舎にトイレがない、外トイレが汚いなど解決しにくい問題が残っており、委員会と協議を始めている。十分ではないが、少しずつ整備が行われていることを知らせるため、生徒や保護者にしっかり広報していかなければならないと思う。環境面においても生徒が自慢できる学校にしていきたい。

・生徒達のこれからは、協働できる力が大事であると聞き、いろいろな教育活動の場面で協働を取り入れた取組を行っている。ただし、コロナ対策をしつつとなり、難しいところがある。

・生徒の家庭学習への取組が不十分だと思われる保護者が多い。学校は家庭学習を出しているが、本人に学習する気持ちがないと保護者は不安に感じると思う。学校は生徒に知識欲や学習に向かう姿勢を育てる必要がある。

・「学校に相談しやすい雰囲気について」だが、担任、学年教師が信頼され、気軽に相談できるようにしなければならない。研修等でいろいろな知識を増やし、そういう教師を目指してもらいたいと思う。また、スクールカウンセラーの周知をし、専門的な方に相談できる体制を強化していきたい。

・地域、保護者、学校の協力関係が低い数値だが、コロナによる影響もあり、地域の方との連携が図りにくいこと、学校の担任ですら時期（緊急事態宣言）によっては保護者と顔を合わせにくかったことが要因ではないかとと思われる。また、保護者宛のプリントを生徒が渡していない実態もある。

・「学校の施設は充実整備されてきている」の数値が低いのは、そのことを知ってもらえていないのではと思う。もっと、広報に力を入れ、知らせる努力をしたい。また、トイレ増設、グラウンド改修など学校だけではできないものもあるが、委員会に依頼をしているところである。まもなく（12月末より）グラウンド防球ネットの改修依頼が通り、実現される予定である。多くの問題が解決できる長寿命化工事の延期は本当に残念である。